

平成23年行政事業レビューシート（外務省）										
3年行政事業レビュー		我が国の安保理非常任理事国任期中の出張旅費			担当部局庁		総合外交政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		平成21年度開始 平成22年度終了			担当課室		国連政策課		課長 小林 賢一	
会計区分		一般会計			施策名		Ⅱ-1 国際の平和と安定に対する取組			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		外務省設置法第4条第一項、第二項、第三項 外務省組織令第34条			関係する計画、通知等		第百七十一回国会における中曽根外務大臣及び第百七十四回国会における岡田外務大臣の外交演説			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		我が国が安保理非常任理事国を務めている間、我が国が特に安保理においてリーダーシップを取ることが期待されている案件につき、国連代の業務を支援すべく、国連関係者や安保理理事国との間で協議を行い、安保理の意思決定に我が国の国益が適切に反映されるよう努める。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)		我が国が安保理非常任理事国を務めている間、理事国として貢献が期待される案件につき国連関係者や関係国と協議を行う。平成22年度においては、「国際の平和と安全の維持における安保理の主要な役割に関する安保理首脳会合」「G4外相会合」への出席を行った。								
実施方法		■直接実施 □業務委託等 □補助 □貸付 □その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		予算 の 状 況	当初予算	—	5	5	—	—		
			補正予算	—	—	—	—			
			繰越し等	—	—	—	—			
			計	—	5	5	—	—		
		執行額		—	2	4				
		執行率(%)		—	48.1	72.9				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		我が国が支持できる安保理決議・議長声明の採択(件数)。			成果実績	採択数	—	83	89	—
					達成度	%	—	99	100	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		安保理非常任理事国任期中の重要な会合への職員派遣(回数)。			活動実績 (当初見込み)	人数	—	2	4 (4)	— ()
単位当たりコスト		907(千円/人)			算出根拠	派遣旅費3, 629千円(1回の出張に要した総経費)÷4名				
平成23 (単位:千円) 年度予算内訳	費 目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	職員旅費		—	—						
	計		—	—						

事業所管部局による点検			
	評価	項 目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	国際の平和と安全に関する安保理首脳会合（菅総理出席）に出張者が同席した他、G4外相会合に出席した。いずれも、我が国が理事国を努めている時期に開催された重要な会合において、総理、大臣を然るべく補佐することが出来た。また、関係国と安保理に関する有意義な意見交換を行うことができた。		
予算監視・効率化チームの所見			
	－		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
－			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
●第百七十一回国会における中曽根外務大臣の外交演説（関連部分抜粋） 今後2年間、国連安全保障理事会の一員として、積極的かつ建設的な役割を果たしてまいります。同時に、国連がより効果的にその任務を果たすためにも、我が国の常任理事国入りを含む安保理改革の早期実現を目指し、本年2月に開始される政府間交渉に臨む決意です。 ●第百七十四回国会における岡田外務大臣の外交演説（関連部分抜粋） 日本は、国連を重視し、積極的に活用し、その実効性と効率性を高めることに貢献していきます。そのためにも、日本の常任理事国入りを含む安全保障理事会改革の早期実現に取り組めます。また、安保理の非常任理事国として、昨年に続き今年も積極的な役割を果たしていきます。 ●我が国の安保理非常任理事国の任期 我が国は、08年秋に行われた安保理非常任理事国選挙で当選を果たし、2009年1月より2年間の任期で、安保理理事国を務めている（通算10回目）。			

※平成22年度実績を記入

外務省
4百万円

〔 安保理協議・各国への働きかけ 〕



A. 出張者(4名)
4百万円

〔 出張旅費 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	派遣旅費	出張者A	1			
	派遣旅費	出張者B	1			
	計		2	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者 A	派遣旅費	1		
	出張者 B	派遣旅費	1		
3	出張者 C	派遣旅費	0.7		
4	出張者 D	派遣旅費	0.5		
5					
6					
7					
8					
9					
10					